

牛の守護聖人名にちなむ 大晦日の名物コンサート

年末から年始にかけては、世界中のクラシック音楽ファンにとっては、待ち焦がれていた季節でもある。

というのも、世界を代表する二つのオーケストラによる、名物コンサートが開かれるからである。十二月三十一日にはベルリンフィルハーモニー管弦楽団「シルヴェスター・コンツェルト」(会場Ⅱフィルハーモニー)、新年のお年玉にはウィーンフィルハーモニー管弦楽団「ニュー・イヤール・コンサート」(会場Ⅱムジークフェラインザール)である。

両演奏会とも現在では衛星放送によって目のあたりにすることができるので、いつそう待ち望まれるのである。

ところで、ニュー・イヤールはわかるけど、シルヴェスターって何のことだろうと思われたのではなからうか。ローマカトリックには「神と人間との仲介者」と位置づけられる「聖人」という存在がある。

聖人はもともと人間であったが、**殉教**により**聖化**されたのである。彼らはそれぞれ職業、都市、病気などを守護する役割を与えられ、信仰の対象になっている。その殉教日が聖人の祝日となっており、十二月三十一日は聖シルヴェスターの記念日なのである。

聖シルヴェスターは第三十三代のローマ法王(在位三二四～三三五)である。彼は貧困者を救うために慈善事業に力を尽くしたと伝えられ、また、コンスタンティヌス大帝に洗礼を施し、彼の病気を治したところから、病人の守護聖人となっている。

また、各聖人には、文字の読めない庶民のため、聖面に描かれた聖人を識別するために、個々にエンブレム(仏教でいう持物^{じぶつ})が採用されている。聖シルヴェスターのエンブレムは牡牛である。これは、奇跡によって死んだ牡牛をよみがえらせた伝説によるものである。そこから彼は牛の守護聖人ともなっている。

ワンポイント知識

牛肉の部位

小売り表示で、牛肉には、「ネック」「かたロース」「かた(うで)」「リブロース」「サーロイン」「ヒレ」「かたばら(ともばら)」「うちもも(しんたま)」「そともも」「ひたひた」「すね(まえすね、ともすね)」の十一部位があります。

それぞれの部位には、運動量の差などで、かたい部位、軟らかい部位、きめのあらい部位、きめの細かい部位などがあるため、それぞれの部位の特長を生かしたお料理に利用することが重要になります。